

Expand Your World

子どもたちが自らの世界を広げ、
力強く輝いてほしいという
願いがこめられています。

26号



English Project 得意を持ち寄り、意見をぶつけ合いながら

English Presentationに向けて、準備が続々と進んでいます。当日は「ゲームフェスティバル」として、生活科で作ったおもちゃを使ったゲームのお店を開きます。子どもたちが立てた目標は、「すべて英語を使って、お店を盛り上げよう」「1年生を楽しませよう」の2つです。準備の段階では、2年生という学齢もあり、日本語も使ってやりとりしながら進めています。

準備の様子から、2つお伝えします。

1つ目は、**それぞれが得意を活かして、ゲームづくりを助け合っていることです。**「僕は書くのが得意だから、ルール説明を書いておくね」「OK、ありがとう！とっても上手だね」。こうしたやりとりが、多くのグループで見られます。お互いの良さを認め合いながら活動が進んでいます。ただ、いつもこう穏やかに進むわけではありません。

2つ目にお伝えしたいのは、**意見が対立してぶつかり合う場面のことです。**

この「ぶつかる」を、私たちは避けようとは考えていません。むしろ、そこでしか学べないことがあるから、あえてグループで進めています。一人で作れば、ぶつかりません。けれども、折り合いのつけ方を学ぶ機会も、そこには生まれないのです。

先日もあるグループで、言い合いになった場面がありました。教員が間に入って気持ちの交通整理をしていると、ある子がこう言いました。「**次はこのタイミングで謝ればよかった**」。誰かに言われたのではなく、自分で振り返って出てきた言葉です。私たちが育てたいのは、意見を言わずに済ませる子ではありません。**自分の考えをしっかりと主張したうえで、相手と折り合いをつけて合意をつくれること。**うまくいかなかったときには、**どうすればよかったかを振り返り、次に活かせること。**そんな子に育ってほしいと願っています。

来週はいよいよゲームが完成し、お店のリハーサルに入ります。英語でさまざまなフレーズを言えるように準備を進めていきます。1年生を楽しませるという目標に向かって、ぶつかりながら進んでいきます。いつも子どもたちの挑戦を支えてくださり、ありがとうございます。



